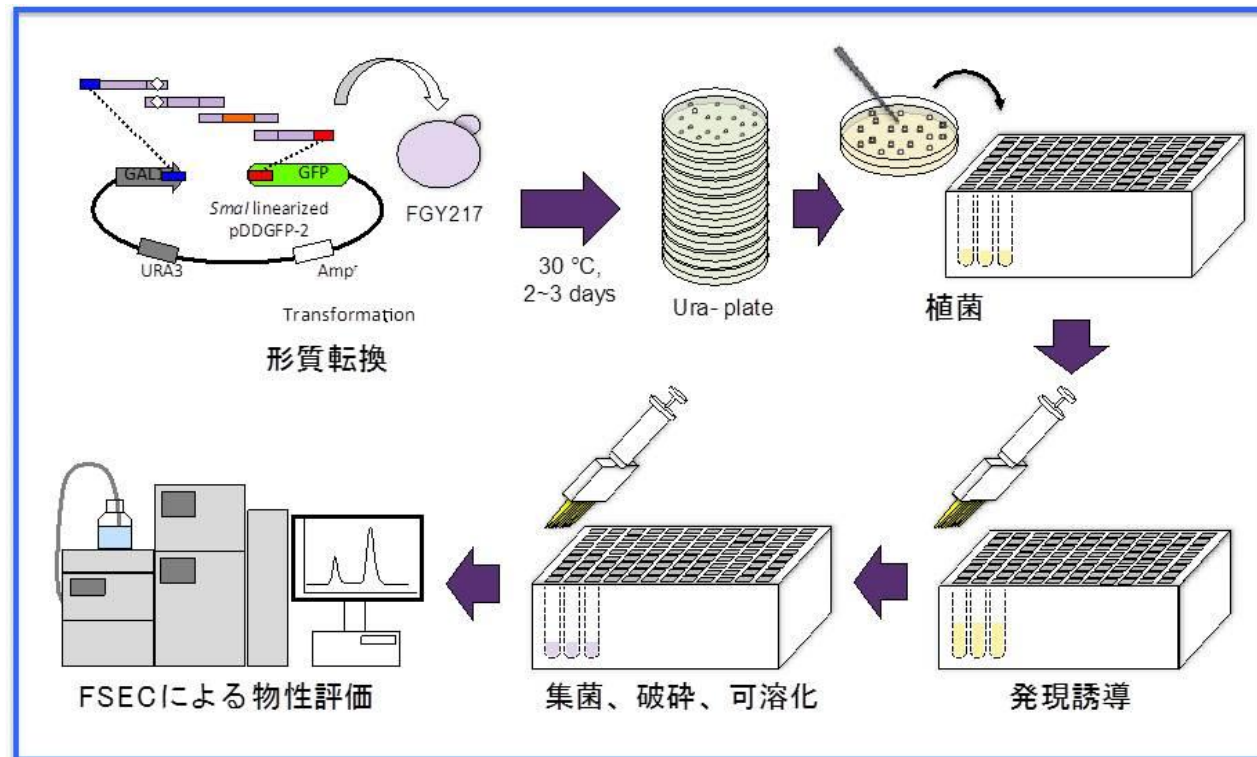


# 出芽酵母を用いた安定化ヒト膜タンパク質の ハイスループット作製・評価システム

## [技術の概要]

### 出芽酵母を用いた安定化ヒト膜タンパク質の ハイスループット作製・評価システム



#### 低コスト

培養量 1 ml。小スケールでの処理、分析可能。

#### ハイスループット

植菌から蛍光ゲル濾過 (FSEC) までの工程を96ウェル形式で行う。FSECはオートサンプラーによる自動分析。現状で最大384[個/週]の解析が可能。

#### 高正確性

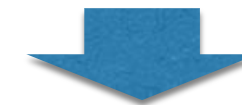
FSEC分析におけるウェル間誤差: ±15%以内。

## [技術の利用例]

### 高難度膜タンパク質の安定化

改変モジュール (部位特異的変異、N末端及びC末端、ループの切除、安定化タンパク質の融合など) 導入時の最適化。

ランダム変異導入 (エラープローンPCRなど) による安定化変異体の高速スクリーニング。



構造解析に利用、機能性抗体作製の抗原として使用、バイオセンサーなどに応用。

## 連絡先

[所属] 九州大学

[名前] 白石充典

[E-mail] shiroish@phar.kyushu-u.ac.jp